2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科	目	区	分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	コンピュータベーシック	I	必修	/選	択o	D別	必修	授業時数(単位数)	時間(単位)
対象学年	2年		学期	及ひ	曜日	寺限	後期	教室名	PCルーム
担当教員	BSC	実務経験と その関連資格							

《授業科目における学習内容》

この授業では、これからの社会生活に必要とされるデータサイエンスの知識・技能のうち、基礎的な統計手法について、Excelを用いてを習得する。

《成績評価の方法と基準》

出席(20%)、平常点(10%)、課題・小テスト点(70%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

Microsoft AI-900試験対策コンテンツ

対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独 学できるようデザインされた教材です。

《授業外における学習方法》

自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。

《履修に当たっての留意点》

出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。

	授業の 方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	データの特徴を数値化できる(平均、分散、標準偏差)	初級データサイ エンス(統計編)1	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
╏╬	我形式	各コマに おける 授業予定	平均と分散の意味と求め方/標準偏差の意味と求め方		
第	講			如何一一九山人	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
2 月	義形式	各コマに おける 分析ツールの使用/基本統計量の算出/度数分布表(ヒストグラ 長業予定 ム)の作成/標準偏差のグラフ図示		初級データサイ エンス(統計編)2	
第	講			411611 - 1 h l	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
3 月	義形式			初級データサイ エンス(統計編)3	
第	講	授業を 通じての 到達目標 統計的検定を実施できる		41161 - P. P. P.	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
4 形	義形式			初級データサイ エンス(統計編)4	
第	講美	授業を 通じての 到達目標 統計的手法を選択して利用できる		如如二 九山 /	イーラーニングテキスト
5 月	義形式	各コマに おける 授業予定	データの分類(質的データ、量的データ)、検定後の結論の書き 方、統計手法の復習	初級データサイ エンス(統計編)5	で講義の内容を確認しておくこと。

	業の 法			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6	講義	授業を 通じての 到達目標	分散分析の意味とその使い分けについて理解できる	初級データサイ	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
回	形式	各コマに おける 授業予定	1元配置の分散分析(対応のない因子の場合)/2元配置の分散 分析(対応のある因子の場合)/独立性の検定(カイ2乗検定)/ 死亡率・生存率・罹患率の算出	エンス(統計編)6	
弗 7 回	講義形式	授業を通じての到達目標	AI-900全体像を理解できる	AIの種類と6つの 原則	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
		各コマに おける 授業予定	AI(人工知能)とは/AI の課題とリスク/責任ある AI/Azure AI サービスの基礎		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	機械学習の仕組みを説明できる 1		イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
8 	我形式	各コマに おける 授業予定	機械学習とは/機械学習の工程/回帰・分類・クラスタリング	機械学習の予測	
第	講義			機械学習の学習	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
9	彩形式			方法と精度	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	Computer visionとCustom visionの違い、Face、Document Intelligenceの機能を説明できる		イーラーニングテキスト
10回	我形式	各コマに おける 提業予定 でのmputer Visionの機能/顔認証の基礎/光学式文字認識の基 健		画像認識	で講義の内容を確認しておくこと。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	SNSや音声、会話のやりとりについて説明できる	自然言語処理	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
11	戦形 式	各コマに おける 授業予定	テキスト分析とエンティティ認識、センチメント分析/音声認識と合成、機械翻訳/会話言語理解(意味論的言語モデルーLUISー)/対話型AI		
第	講義	授業を 適じての 到達目標 生成AIのしくみとCOPILOTについて説明できる			イーラーニングテキスト
12回	彩形式	各コマに おける 授業予定	生成AIとは/大規模言語モデル/Microsoft Copilot/Azure OpenAI Serviceの基礎/責任ある生成AIの基礎	生成AI	で講義の内容を確認しておくこと。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	模擬問題を解くことで試験問題の出題傾向を理解できる1	模擬1	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
13 月	彩 式	各コマに おける 授業予定	模擬試験の実施、受験者登録		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	模擬問題を解くことで試験問題の出題傾向を理解できる2		イーラーニングテキスト
14	義形式	各コマに おける 模擬試験の実施 模楽予定		模擬2	で講義の内容を確認しておくこと。
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	模擬問題を解くことで試験問題の出題傾向を理解できる3		イーラーニングテキスト
15 □		各コマに おける 授業予定 模擬試験の実施		模擬3	で講義の内容を確認しておくこと。